



2023-24 年度
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

Weekly Report Niigata



2023~24 年度
新潟ロータリークラブ会長

内山 博之

新潟 RC 9 月第 2 例会 (2023.9.12) (Zoom 例会併催) No.3474

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 内山 博之会長挨拶

皆さん、こんにちは。まずは、先週の第一例会、流行り病ではなかったのですが、月曜日午後より発熱いたしまして大事をとって欠席させていただきました。佐藤副会長、小川幹事はじめ役員・理事の皆様には大変ご迷惑おかけしましたことお詫び申し上げます。佐藤副会長のように面白い挨拶ができませんが、本日も少々お付き合いください。

さて、本日ですが、「いまさら聞けないロータリー第三回」といたしまして、毎回の例会時に皆さんから頂戴しております寄付金についてお話ししたいと思います。ロータリー財団委員会、米山奨学委員会、青少年育成基金委員会、ニコニコボックス委員会とあるわけですが、そもそもの寄付の目的について、改めて調べてみましたのでご紹介したいと思います。まず、ロータリー財団委員会ではありますが、世界でよいことをしようというスローガンの下、世界各地で健康状態の改善、教育、環境保全を通じて貧困を無くし世界平和を構築することが目的でありまして、毎月末に日本支局を通じて RI 本部へ送金されます。次に米山奨学委員会ですが、将来母国と日本の架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的として奨学金を支給しております。こちら毎月末に米山記念奨学会へ送金されます。次に青少年育成基金であります。1990 年に新潟ロータリークラブ創立 50 周年記念事業費より 1400 万円拠出する形でクラブ独自にこの基金が設立されまして、青少年育成を目的に関連する機関や個人に寄付されています。2023 年 6 月末現在 4700 万円ほどあるわけですが、規則により年度内にいただいた寄附金と利息の範囲内で贈呈することとなっておりますので、基金残高が減らないわけですし、今後更に有効に利用するには規則の改正が必要となっております。最後にニコニコボックス委員会ではありますが、会員の喜び事、祝い事や、ちょっとしたしくじり等、身の回りの出来事や近況報告、御礼など様々な理由を付けて、会員が自発的に拠出するもので何の規定もありません。いただいた寄附金は社会事業基金に組み込まれて毎期の経常費に利用されております。

毎年地区の方から、目標の寄付額のお願いがくるわけでありまして、米山奨学金普通寄付 4000 円は、皆さんから頂戴しております年会費に含めてご請求しております。私個人的には少し違和感がありまして、やはり寄付というのは善意であって、その目的や使途についてご賛同ただけて初めて寄付しようという行動にできるものだと思います。先ほど、ご説明させていただきました点を踏まえて、余っているお金があれば上限は問いませんのでぜひご協力をお願いしたいと思います。最後に、4 つの寄附金のうち、税制優遇が受けられるのは、ロータリー財団と米山奨学会となります。どちらも特定公益増進法人に認定されているため税制優遇が受けれることになっております。そのためには、申告用の領収書と税額控除の証明書が必要となります。注意していただきたいのが、寄付の際に申し出がないと領収書は個人名で出て参りますので、この場合は個人で確定申告する形となります。法人名の領収書が必要な場合は、そのようにできますのでお申し出ください。

以上、本日の会長挨拶とさせていただきます。有難うございました。

(3) ビジターの紹介

Friedberg Bayern (フリースベルク バイエルン) RC
元会長 Dr. Wolfgang Bockhold (ヴォルフガング
ボックホルト) 君

(4) 米山奨学生 余子慶さん 奨学金贈呈・挨拶

(5) 委員会報告

・若槻 良宏グローバル奨学生カウンセラー、田中遙奨学生 7 月、8 月活動報告を紹介

(6) 同好会報告

・高橋 秀松ゴルフ同好会会長より、9 月 10 日に開催された親睦ゴルフコンペ結果報告
優勝 深澤康志さん、2 位 佐藤邦栄さん、
3 位 大桃典和さん

(7) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(本多 晃委員長)

内山 博之君 本多 晃君

佐藤 隆夫君

青少年育成基金寄付発表(高山 克幸委員長)

本間 彊君

(8) ニコニコボックス紹介 (酒井 昌彦副委員長)

・猪島 光典君 本日卓話でフェアスタートサポート様をご紹介します。よろしくお願いします。

・本間 彊君 ヴォルフガング ボックホルトさんが久しぶりにメーキャップして下さり、お会い出来て嬉しく思いました。

・佐藤 紳一君 パースデイワインありがとうございます。来年は「スプマンティ」などどうでしょうか？

高橋 秀松君 1年ぶりにゴルフをプレーすることができました。スコアはめっちゃめっちゃでしたがニコニコします。

・深澤 康志君 ゴルフ同好会、初優勝できました。3年目にしてやっと！同伴頂いた高橋秀松さん、江越さん、内田さん、ありがとうございます。

(9) 卓話

卓話「児童養護施設と企業とのパートナーシップが子ども達の社会参画の精度を高める」

NPO法人フェアスタートサポート

代表理事 永岡 鉄平 氏



(10) 9月12日の例会参加率

| 会員数 | 算定対象者 | 出席者 | 参加率 |
|-----|-------|-----|-------|
| 84 | 82 | 66 | 80.49 |

Zoom 参加 13名

次週9月19日は

卓話 NPO 法人キーパーソン 21 チームにいがた
代表 渋谷圭子氏

新潟 RC ロータリークラブ
情報委員長 小山楯夫

佐藤千寿 氏 遺稿東京江北 R.C.

『他人(ひと)の金で奉仕をするという虚構』より抜粋

ミルトン・フリードマン =MiltonFriedman=は、「近代福祉社会の虚構のひとつは善行が他人の金で出来るということだ」と前置して四つの金の使い方について次の様に述べている。時折私はこれを引用させて貰っているが、ミルトンの指摘は経済的側面からの論評で、ここは心の問題について触れていないので、これを補足して各項目ごとに私見を述べてみたいー

(1)自分の金を自分のために使う時

(フリードマン…節約と効率の原理が働く)

(佐藤…使い道については多少恥ずかしいことがあっても良心にそむかぬ行動なら許される)

(2)自分の金を他人のために使う時

(フリードマン…節約の原理は働くが、効率への配慮は薄くなる)

(佐藤…相手が犯罪人でない限り全く良心に痛みはないし、寧ろ誇りにして良い)

(3)他人の金を自分のために使う時

(フリードマン…専ら効率を考えるが、節約への配慮は無い)

(佐藤…通常の人なら恥ずかしいし良心的にも痛みを覚える)

(4)他人の金を他人のために使う時

(フリードマン…節約も効率も考えない)

(佐藤…虚栄心を増長させ、それにつれて良心も麻痺する)

以上の様な次第だが、この他人(ひと)の金を使う時の精神状態に於て(3)と(4)が連動すると自己顕示欲のみ肥大して結局犯罪行為にまで及ぶ危険がある。但し、「他人(ひと)の金を他人(ひと)のために使う」にしても、少数の個人が金を集めて、これを誰かお互自分達の知っている人に託して使う、という場合には、金の出し手と受益者と受託者との関係が濃密である。お互に顔が見えている。

だから何も問題は起こらない。問題が発生するのは、そういう善行を志す人々の組織が大きくなり、顔の見えない仲間が主体性を持つ様になった時である。

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>